

# 進路だより

令和7年12月22日(月)  
岐阜県立恵那特別支援学校  
進路支援部 No. 4

今回は、恵那市・中津川市 企業・福祉事業所等合同説明会の様子と、小学部での取組等についてお知らせします。

## ◇恵那市・中津川市 企業・福祉事業所等合同説明会

11月20日(木)、中津川市の東美濃ふれあいセンターにて、中津川市・恵那市雇用対策協議会と恵那特別支援学校の共催による「恵那市・中津川市 企業・福祉事業所等合同説明会」を開催しました。午後からはPTA研修として、高等部の生徒と保護者の方、また小・中学部の希望された保護者の方々を対象に出展事業所の見学会も行いました。事業所の施設や、利用者・社員の方々が働く様子を実際に見学することで、卒業後の進路や生活、そして現在の学校生活で取り組むべきことについて、より具体的に考えるきっかけとなりました。

中学部3年生にとっては、高等部卒業後の進路について本人と保護者が一緒に考える貴重な機会となりました。生徒の中には「自動車に興味があるので、部品を扱う会社で働きたい。そのために今できることは何だろう」と自ら問いを立てる姿や、自分に合った作業内容を見つけて体験する様子もみられました。難しい内容であっても、自分なりに耳を傾けようとする姿勢もありました。高等部の生徒は、自ら質問して要点をメモしたり、次年度の現場実習先(=卒業後の進路希望先)の候補としてのイメージをもって説明を聞いたりするなど、将来に向けたビジョンを描いている様子がうかがえました。



## ◇小学部の取組

小学部では「一人一人のよさを大切に、できることを広げる」を目標にして、毎日の学習や生活への取組を大切にしており、この継続した取組が卒業後の進路の土台としてつながると考えています。また、役割を果たすことや他者から感謝されることの喜びを感じながら勤労観を育成すること、地域に出て活動をしたり、地域の人とかかわったりしながら学習を積み重ねていくことも大切にしています。小学部の段階では作業学習はありませんが、将来を見据えた長期的な視点を持ち、まずは自分の身の回りのことからできるようにし、多様な人とかかわりながら中学部、高等部へとつなげる取組を行っています。



自分たちが暮らす地域にある公共施設を利用する学習をしています。きまりや順番を守りながら、友達とともに活動に取り組んでいます。



学校周辺へ散歩に出かけたり、地域の人とかかわりながら一緒に活動したりしています。



すべての学年で買い物学習を行っています。

自動販売機での購入や、店の人と金銭のやりとりをして買い物をする経験を積んでいます。



昨年度の高等部卒業生の進路先一覧や、過去4年間の現場実習先一覧を、当校ホームページの進路情報欄に掲載しています。ご覧ください。

【恵那特別支援学校 HP】

[URL] <https://school.gifu-net.ed.jp/ena-sns/>

学校HP QRコード →  
スマホの読み取りカメラから  
アクセスできます。

